

山形県広報誌県民のあゆみ令和8年9月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

＜表紙＞

山形県広報誌／県民のあゆみ 令和8年9月号 第653号

県民のあゆみ9月号

ともに築いた150年、ともに進む未来へ
令和8年8月21日 山形県政150周年

7月号は明治時代の風景。今月号は、明治時代からつながる現在の山形県の姿。

01)新庄駅（新庄市）、02)山形新幹線つばさ（上山市茂吉記念館前駅付近）、03)4つの県立病院（山形市、新庄市、鶴岡市、河北町）04)赤川花火大会（鶴岡市三川橋付近）、05)山形県庁（山形市）、06)東北中央自動車道栗子トンネル（米沢市）07)外航クルーズ船と酒田港（酒田市）、08)庄内空港と庄内平野、09)新庄警察署（新庄市）10)やまがた紅王、11)県内の大学（山形市、米沢市、新庄市、酒田市）、12)梨郷道路（南陽市）

特集1 学んで備える地域防災（2ページ）

特集2 未来につなぐ農業へ！農業DXの推進（4ページ）

特集3 やまがた省エネ健康住宅やまぼっか（5ページ）

奏であう人（8ページ）

潜入レポート！（16ページ）

今月の表紙

現在の山形県の風景

画像提供：JR東日本山形事業本部、赤川花火大会実行委員会、山形河川国道事務所、福島河川国道事務所、酒田市、山形大学、東北芸術工科大学、東北文教大学

〈別冊〉

クマ被害防止パンフレット同封

ぜひ、ご覧ください！

＜2から3ページ＞

タイトル

特集 学んで備える地域防災

地域住民一人ひとりが、自らの命を守ることができ、互いに協力・連携し、自分たちの地域を守る力を身に付けることで、将来にわたって災害による被害を最小化できる地域社会の構築を目指します

写真キャプション やまのべ防災フェスの様子【山辺町提供】

地域で防災について「学び」、備えていくために

頻発・激甚化する災害や人口減少などに対応し、地域の防災力を高めるためには、「一人ひとりの備え（自助）」と「地域の助け合い（共助）」が欠かせません。

そこで県では、県民や各関係者が防災学習の基本理念を共有し、防災学習を体系的に進める指針として、令和8年3月に「地域における防災学習アクションガイド」を策定しました。

アクションガイドには、防災学習の基本理念や3つの柱、目指すべき姿、各主体の役割や取組みの方向性、県内市町村の参考事例などを掲載しています。

自助 自分の身は自分で守る

公助 県、市町村などが防災に取り組む

共助 みんなで助け合う

災害に強い山形県

「ハザードマップ」は市町村のホームページや、国土交通省のハザードマップポータルサイトなどで確認できます。

詳しくはこちら <https://disaportal.gsi.go.jp/>

災害への備えには、「県民防災チェックシート」をご活用ください。

詳しくはこちら

https://www.pref.yamagata.jp/020072/bosai/kochibou/bousai_jouhou/sonae/kenminbousaiday.html

どのように学んでいく？

「地域住民」の皆さんの取組みをアクションガイドからご紹介します。

柱1 災害の自分事（じぶんごと）化

自分の地域にどんな災害のリスクがあるのかを知り、主体的に防災学習に取り組むことが大切です。

ハザードマップの確認、防災セミナーへの参加、家庭内の備え（例：備蓄、家具の転倒防止、避難経路や避難先の確認）など、日ごろから防災について学び、実際の備えにつなげていきましょう。

柱2 地域の防災活動の実効性向上

各家庭での備えに加えて、地域全体で防災力を高めることが必要です。

地域の一員として、防災訓練への参加や自主防災組織への参画など、地域の防災活動に積極的に参加しましょう。

柱3 幅広い担い手の育成

地域での防災力を高めるためには、幅広い世代が防災活動に触れ、将来の地域防災の担い手として育つことが大切です。

防災の知識と技能を身につけるために、県や市町村が実施する研修会や、防災士養成研修講座などに参加してみましょう。

「地域における防災学習アクションガイド」はこちら

https://www.pref.yamagata.jp/020072/bosai/kochibou/bousai_jouhou/kyouikukeihatsu/bosaigakusyu-actionguide.html

写真キャプション1 図上演習の様子「尾花沢市自主防災リーダー研修会」（尾花沢市提供）

写真キャプション2 防災参観デーの様子「寒河江市柴橋地区自主防災会連絡協議会」（「しばはし防災ネットワーク」提供）

防災活動に関わる主な主体

自主防災組織等

県・市町村

地域住民

学校・教育委員会

事業所等

福祉団体・福祉事務所

家族で活用してほしい、役立つ防災アプリ

目の不自由な方の災害への備えに

耳で聴くハザードマップ

「Uni-Voice Blind」アプリ

現在地や調べたい場所の災害時のリスクを音声で確認可能！

避難情報の音声読み上げ機能もあり、視覚障がいのある方だけでなく、小さな文字が見えにくい方にも安心してお使いいただけます。

外国語（英語・中国語・韓国語・ベトナム語・ネパール語）にも対応しています！

平時において、最寄りの避難所の位置を振動と音声で確認し、避難ルートの事前学習に役立てることができます。

現在地や検索した地点において想定される浸水深や、土砂災害の危険度などを音声で紹介。

アプリの詳細はこちらから（県ホームページ）

https://www.pref.yamagata.jp/020072/bosai/mimidekiku_hazardmap.html

ダウンロードはこちらから

<https://apps.apple.com/jp/app/uni-voice-blind/id1070819206>

やまがた暮らしのお守りに

やまがた安心ポータル やまもり

お住まいの自治体からの防災情報や、最寄りの避難所への案内などに加え、災害が起きた際の安否確認や避難生活におけるニーズ調査など幅広い場面で活用いただけます。

（注釈）マイナンバーカードを「やまもり」で読み取り、事前の登録が必要です。

（注釈）住所地が鶴岡市、南陽市、舟形町の方は、防災情報のリンク集のみご利用いただけます。

自治体からの防災情報を受け取ることができ、平時の防災対策や災害時の避難行動に役立てることができます。

避難所ではアプリによる二次元コードの読み取りなどにより、迅速かつ適切な受付が可能。

アプリの詳細はこちらから（特設サイト）

<https://y-app.pref.yamagata.jp/>

ダウンロードはこちらから

<https://apps.apple.com/jp/app/%E3%82%84%E3%81%BE%E3%81%8C%E3%81%9F%E5%AE%89%E5%BF%83%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%AB-%E3%82%84%E3%81%BE%E3%82%82%E3%82%8A/id6758200108>

問い合わせ 防災危機管理課 電話番号 023-630-2255

<4 から 5 ページ>

タイトル

山形県産業科学館 開館 25 周年未来につなぐ農業へ！ 農業 DX の推進

山形県の農業を未来につなぐため、「農業 DX」を推進しています！

「農業 DX」ってなに？

「農業 DX」とは、センサーやドローン、AI などのデジタル技術を活用して、農業のやり方や経営をより効率的なものに変えていく取り組みです。データを集めて分析することで、作業のムダを減らし、人手不足の解消や収穫量・品質の向上につなげることを目指すものです。

写真キャプション 1 衛星画像で水稻の生育状況を確認

写真キャプション 2 ドローンでの肥料散布

山形県の農業はどうなる？

山形県では、人口減少や高齢化が進み、生産者の減少が続いていて、農業の担い手不足が課題となっています。このため、より少ない人数でも品質の良い農産物をたくさん収穫でき、儲かる魅力的な農業に転換していく必要があります。

山形県の農業者数の推移

平成 27 年 46,060 人

令和 2 年 39,034 人

平成 27 年から令和 2 年の間に農業者数が年平均で 1,400 人減少し、合計 7,026 人減少した。

令和 7 年 30,109 人

令和2年から令和7年の間に農業者数が年平均で1,800人減少し、合計8,925人減少した。

未来につなぐ農業に向けて

山形県では、デジタル技術を活用した農作業の効率化や、生産性の向上に向けた取組みを進めています。

さくらんぼでは、果実の選別・箱詰めなどは手作業が多く自動化・省力化が進んでいないため、作業の省力化や規模拡大を目的に、農業と工業が連携してスマート農業機器の開発を進めています。

水稻では、衛星画像と気象データから生育状況を推定し、生育に応じた、最適な肥料の量や散布時期、収穫適期などの栽培管理情報を提供するなど、広く現場で活用できる技術の確立を目指しています。

また、農地を継承するためには、農地の状況を正確に把握し伝えることが重要であるため、衛星データとAIを活用して、栽培している果樹の種類や立地条件もわかる農地情報の整備を目指しています。これにより、新たな農家が安心して農地を引き継ぐことができるようになります。

農業DXによる農地集約イメージ

規模拡大

生産性の向上

新規就農者とのマッチング

担い手への農地の集約

写真キャプション さくらんぼの自動選果マシンの開発

問い合わせ 農業技術環境課 電話番号 023-630-2446

タイトル 山形の冬が変わる。冬暖かく、夏涼しい快適なくらしへ

やまがた省エネ健康住宅 やまぽっか

「やまぽっかの家」とは

最も寒い時期、就寝前に暖房を切っても翌朝の室温が10度を下回らない性能を持つとして県が認証した高気密・高断熱住宅

詳しくは検索窓に「やまぽっかの家」と入れてクリック。

「やまぽっかの家」の3つのメリット

<健康な体に！>

家の中での熱中症のリスク軽減！

睡眠の質を改善。真冬の朝から薄着でも活動的！

家中一定室温で血圧が安定。元気で長生き！

風邪をひきにくく、喘息が減り、子育てが快適！

<家計にやさしい>

光熱費が最大約70パーセント削減！

冷暖房器具の交換費用も減少！

<暮らしやすい>

結露がないから掃除が楽。カビの心配がなく空気もきれい
家中があたたかいのでコタツやファンヒーターが不要
騒音対策にも！

出典（一社）20 年先を見据えた日本の高断熱住宅研究会「HEAT20 設計ガイドブック 2021 正しい住宅断熱化の作法」172 ページから 177 ページ

子育てから老後まで快適な空間で子育てから老後まで快適な空間で

プラス再エネ設備で
太陽光
HEMS
蓄電池設備
停電時も安心
シーオーツの排出を削減
地球にも優しい

「やまぽっかの家」をお得に新築するチャンス！
山形県が、あなたの家づくりを応援します
県産木材を一定量使用で 定額 50 万円 補助
〔募集期間〕令和 8 年 11 月 13 日（金曜日）まで
詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/tatekkana/support/shien/rishihokyu-shinchiku.html>

太陽光発電設備や蓄電池、HEMS 等の再エネ設備と組み合わせることで
最大 200.2 万円 補助
〔募集期間〕令和 9 年 1 月 29 日（金曜日）まで
【申込窓口】各総合支庁建築課
詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/tatekkana/support/shien/package.html>

こんな取組みをしています

やまぽっか×芸工大

「やまぽっかの家」を県民の皆さんに知っていただくため、学生の企画提案を取り入れた産学連携のブランディングによって「やまぽっかの家」の良さを発信しています。

やまぽっか公式ホームページ <https://www.pref.yamagata.jp/tatekkana/support/kenkou/>
やまぽっかインスタグラム https://www.instagram.com/yama_pokka/

見て体感してみよう

「やまぽっかの家」が集まった住宅展示場「やま・はぴ」・「カナリエタウン」で実際に建物を見学することができます。

【アクセス】

「やま・はぴ」：山形市落合町字二口 62 番 6

「カナリエタウン」：東根市神町南一丁目 13

「やまぼっかの家」を建てるには

すまい情報センターのサイト「タテッカーナ」で、「やまぼっかの家」に関する情報を見ることができます。実績のある事業者も紹介しています。「やまぼっかの家」は、地域の風土を知り尽くした地元工務店の丁寧な施工により高い性能が確保されています。

「タテッカーナ」では、施工の様子をユーチューブでも配信しています。

山形県すまい情報センター【タテッカーナ】

<https://www.pref.yamagata.jp/tatekkana/>

問い合わせ 建築住宅課 電話番号 023-630-2154

<6 から 7 ページ>

タイトル **県政トピックス** こんなことがありました

1) 県産さくらんぼ、3 年ぶりに 1 万トン台を見込む

「東京・大阪でのさくらんぼトップセールス」（令和 8 年 6 月 6 日 東京都内ほか）

今年のさくらんぼの収穫量は、関係者一丸となって取り組んだ結実対策が実を結び、3 年ぶりに 1 万トン台となる見込みです。吉村知事は、6 月 6 日に東京都の大田市場と銀座三越で、6 月 12 日には大阪中央卸売市場でトップセールスを実施しました。会場では、大粒で食味に優れた新品種「やまがた紅王」を合計 500 名に配布し、PR に取り組みました。今後も生産者や関係団体と一丸となり、県産農林水産物の認知度向上と消費拡大に取り組んでまいります。

2) 樹氷復活を目指して蔵王でのオオシラビソの種まき

本県の冬のシンボルである「樹氷」の復活に向け、このたび、蔵王にある県のほ場において、山形市立東沢小学校 3 年生の皆さんと、県や山形市、上山市、観光関係団体などで構成する「樹氷復活県民会議」によるオオシラビソの種まきを行いました。移植ができる稚樹に育つには 6 年以上の歳月がかかります。息の長い取り組みですが、美しい景観の復活のため、引き続きオオシラビソ林再生への取り組みを着実に進めていきます。

3) 未来の土木エンジニアへ、現場から学ぶ

高校生を対象とした建設工事現場見学会（令和 8 年 6 月 19 日 南陽市ほか）

県が発注した吉野川河川整備工事および国道 287 号米沢川西バイパス道路改良工事の現場において、米沢鶴城高等学校 1 年生の皆さんに工事内容を説明した後、ドローン操作など最新の ICT 技術を体験していただきました。

建設業は、道路や河川などの社会資本の整備や維持管理だけでなく、災害時の応急対応など、地

域の暮らしや安全・安心を支えています。多くの若者に建設業の魅力をお届けできるよう、引き続き発信に取り組んでまいります。

4) すーっと心の深呼吸。いざ、庄内。

山形庄内夏の観光キャンペーン（令和8年7月1日から9月30日）

県と鶴岡市、酒田市、三川町、庄内町、遊佐町、戸沢村の6市町村エリアとJR東日本が連携し、「自然風土・精神文化・食が織りなす 山形庄内 癒しの旅」をテーマとした観光キャンペーンを開催しています。7月4日には、団体臨時列車「音旅×海里」の到着に合わせオープニングセレモニーを実施しました。

9月末まで多彩な特別企画をご用意しています。ぜひ庄内の豊かな魅力を体感しにお越しください。

5) 来年4月から男女共学へ山形県立米沢短期大学に！

県立米沢女子短期大学オープンキャンパス（令和8年7月25日、26日 米沢市）

県立米沢女子短期大学のオープンキャンパスを開催し、高校生・保護者など、たくさんの方に参加いただきました。来年度から男女共学となることから、男子生徒の姿も見られました。

来年度からは、大学名を「県立米沢短期大学」に変更するほか、学科を超えて学べるサブコース制の導入や、地域で学ぶカリキュラムの拡充などを通して、より一層、学生に選ばれる大学となるよう、バージョンアップしていきます。

知事コラム

郷土の偉人が朝ドラに登場！

「ほんのモキチ」制作決定！

令和10年度前期のNHK連続テレビ小説に、上山市出身の歌人・医師である斎藤茂吉とその妻・輝子をモデルとした作品「ほんのモキチ」の制作が決定しました！

茂吉は日本近代短歌を代表する歌人で、ふるさと山形を深く愛し、蔵王連峰や最上川などを多くの歌に詠み込みました。なかでも「陸奥（みちのく）をふたわけざまに聳えたまふ蔵王の山の雲の中に立つ」は、蔵王の雄大さを詠んだ、私の大好きな歌です。

歌人・茂吉の功績は現在も高く評価されており、県では「斎藤茂吉文化賞」などを設け、その偉業や志を今日に伝えています。県内外に数多くの歌碑が建立されるなど、全国の方々から今なお敬愛されています。

また、妻の輝子は、89歳で生涯を閉じるまで、旅した国は108か国、79歳で南極に、80歳でエベレストを訪れたスーパーウーマンです。朝ドラ史上「最も不仲な夫婦」の物語として描かれるということで、少し心配もありますが、放送が楽しみです！

このドラマを通して、多くの皆さまに茂吉の人生や作品はもとより、その原点となった本県の歴史や文化、美しい景観にも関心を持っていただけたら嬉しいです。この勢いで、初代山形藩主・最上義光を主人公とした大河ドラマも実現したら最高ですね！

山形県知事 吉村美栄子

キーワード **言葉と文化を超えて、支え合う力**

長年、ボランティアで外国出身者との交流を続けてきた笹原智子さんと、海外にルーツを持ち、外国出身者の生活支援などを行う門脇エニータさんに、言葉と文化を超えて支え合う地域のあり方についてお話をお聞きしました。

門脇エニータさん（山形市）

1974 年インドネシア・スマトラ島生まれ、山形市在住。2000 年に来日し、翌年に「山形インドネシア協会」を継承。以来、山形県内を中心にインドネシア人技能実習生の語学指導や生活支援を実施。インドネシア人技能実習生の育成を目的とした機関を設立し、実習生と受け入れ企業をつなぐ架け橋として活動をしている。

写真キャプション 山形花笠まつりをはじめ地域の祭りや交流イベントに山形インドネシア協会として参加し、インドネシア文化の発信のほか、外国人と地域住民との交流促進に努めている。互いを理解し、地域の一員として共に暮らす関係づくりを大切に活動している。

笹原智子さん（山形市）

1979 年山形市生まれ、同市在住。長期に渡り国際交流事業に協力し、フィジー、スペイン、ベトナムなどからの短期のホームステイを受け入れている。2020 年 9 月に「在山形ベトナム人協会」を設立し、定期的な日本語教室や、山形の生活や文化に慣れ親しんでもらうための体験イベントなどを開催。フルタイムで働く傍ら、支援活動をしている。

写真キャプション 高畠町国際交流協会の協力のもと、ベトナム人技能実習生から伝統料理「バインセオ」を学び、バーベキューやゲームなどを楽しむ異文化交流イベントを実施。季節ごとにイベントを企画し、相互の文化理解と親睦を深める場を提供している。

外国出身者と地域のかけ橋

「山形で暮らすインドネシア人技能実習生の支援活動を行う原点には、人との出会いがありました」。

そう話すのは、インドネシア出身の門脇さん。26 年前に来日し、山形で暮らす中で、多くの地域の人たちに支えられてきたと言います。

「振り返れば、日々の小さな出会いの積み重ねが、今の私をつくってくれました。この活動を始めたのも、その恩返しをしたいという思いからです」。

「私が助けてもらったから、今度は私が助けたい。それだけなのです。」と門脇さんは言います。一方、笹原さんが県内在住の外国出身者を対象に日本語教室などの活動を始めたきっかけは、山形で暮らす外国人労働者の現状を知ったことでした。

「遠い国から、わざわざ山形を選んで来てくれた人たちに、一市民として何かできないだろうかと思ったのが始まりでした。長年ホームステイを受け入れてきましたが、外国出身者だからと特別に

意識することはありません。生まれ育った国は違っても、みんな同じ人間。支援する側、される側ではなく、お互いを理解し合うことを大切にしています。」と笹原さんが言います。

同じ地域で暮らす仲間として

「外国人という言葉を意識しすぎることで、かえって心の距離が生まれてしまうのかもしれない」。

門脇さんの率直な言葉に、笹原さんは大きくうなずき、応えます。

「関わる機会が増えれば、自然と同じ目線で接するようになるものです。日本語教室でも、相手に伝わる日本語を選ぶだけで、コミュニケーションは大きく変わります」。

門脇さんが続けます。

「お金を目的とするならば、今、日本は選ばれません。日本の文化は唯一のもので、これを身に付けることが、その後の生活を豊かにすると考えて来ています。だからこそ、山形の方にも外国出身者と関わる機会を持ってもらいたいです」。

関わりを増やせば心の距離が縮まる

笹原さんは、ホームステイの参加者を実家の畑へ案内したときのことを振り返ります。

「最初は戸惑っていた両親も、畑仕事を一緒にするうちに、あなたの国はどんなところなのなど、自分から積極的に話しかけるようになっていました。また、畑近くの農家さんと話す機会があり、野菜を持たせてくれたりと、コミュニケーションの輪は少しずつ地域へ広がっていきました」。

門脇さんが続けます。

「声をかけること。一緒に働き、食卓を囲むこと。そんな何気ない時間が、人と人との距離を少しずつ縮め、地域の空気も変えていくのではないのでしょうか」。

その言葉に笹原さんがうなずき、応えます。

「関わりを持ち続けると、外国人というフィルターがはずれ、フラットな関係になりますね」。

交流が生む理解やつながり違いを超えた社会へ

「約束をしなくても、行けば誰かに会える。そんな場所を山形につくりたいと思っています。私自身、家族だけでなく地域の人たちが当たり前のように出入りする家で育ち、多くの人との関わりの中で成長してきました。そのようなつながりを、山形にも広げていきたいと考えています。」と門脇さんは話します。

笹原さんが続けます。

「山形で暮らす若い人たちと外国から働きに来ている人たちとの交流の場をもっと作っていきたいと思っています。若い頃から異文化に触れることで、互いを理解し尊重し合える、そうした気持ちが自然に育まれ、根付いていくと思います」。

異なる文化や言葉を持つ人との出会いや交流。その積み重ねが、特別ではないこととして地域に根づいたとき、国籍や立場、考え方の違いを超えてすべての人が安心して暮らせる社会になっていくのかもしれない。

タイトル **県議会だより** 第 116 号

県議会の最新情報 こちらから今すぐアクセス！

<https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html>

6 月定例会の概要

令和 8 年 6 月定例会は、6 月 16 日から 7 月 3 日までの 18 日間の会期で開催されました。

一般家庭等の LP ガス料金の負担軽減への支援をはじめとする、物価高騰の影響を受ける生活者・事業者への支援や山形空港およびその周辺における広域防災拠点整備に向けた概略検討など、諸課題に対応するための令和 8 年度一般会計補正予算、庄内海岸林応援基金条例の設定についてなど、知事提出の 25 議案を可決・承認・同意しました。また、請願は 2 件上程され、1 件を採択し、1 件を継続審査に付すべきものと決定し、意見書 2 件、決議 2 件を可決しました。

今定例会では、食料品の消費税減税の議論に対する知事の所感や、洋上風力発電事業の進捗状況など幅広い分野について活発な質疑質問が行われました。

6 月定例会で質疑質問を行った議員

詳しくはこちらから

録画中継

<https://gikai.pref.yamagata.jp/yamagatapref/vod>

会議録検索システム（6 月定例会分は 9 月以降に掲載予定）

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/prefyamagata/SpTop.html>

広報誌「県議会やまがた」（公民館等で閲覧可）

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/outline/assemblypublic/kengikaiyamagata.html>

代表質問（6 月 19 日）

自由民主党 榎津博士 議員（寒河江市・西村山郡選挙区）

◆食料品の消費税減税の議論に対する知事の所感 など

県政クラブ 阿部ひとみ 議員（酒田市・飽海郡選挙区）

◆洋上風力発電事業の進捗状況 など

一般質問（6 月 22 日）

自由民主党 小松正和 議員（上山市選挙区）

◆住宅における耐震化の促進 など

県政クラブ 松井 愛 議員（山形市選挙区）

◆「就労」をゴールとしないひきこもり支援のあり方 など

自由民主党 石塚 慶 議員（鶴岡市選挙区）

◆消防指令業務の共同化 など

予算特別委員会（6月24・25・26日）

自由民主党 鈴木 学 議員（東村山郡選挙区）

◆幼保小連携の推進 など

日本共産党山形県議団 石川 渉 議員（山形市選挙区）

◆学校給食の無償化 など

自由民主党 高橋弓嗣 議員（東根市選挙区）

◆さくらんぼ栽培 など

自由民主党 佐藤正胤 議員（鶴岡市選挙区）

◆人口減少対策に係る市町村との連携 など

県政クラブ 橋本彩子 議員（寒河江市・西村山郡選挙区）

◆こどもを SNS 犯罪の被害者にも加害者にもしないための取組み など

自由民主党 梶原宗明 議員（酒田市・飽海郡選挙区）

◆定期船「とびしま」の運航に対する県の支援と考え方 など

県政クラブ 江口暢子 議員（酒田市・飽海郡選挙区）

◆クマ対策の強化と支援 など

自由民主党 船山現人議員（東置賜郡選挙区）

◆置賜地方の農業における課題 など

新議員の紹介

令和8年7月12日に行われた県議会議員南陽市選挙区補欠選挙において、森大輝氏が当選しました。

写真キャプション 森 大輝 議員

意見書・決議を可決

意見書2件と決議2件を可決し、意見書は国会および関係する省庁などに提出しました。

中東情勢に伴う原油価格高騰等による生活・産業への影響緩和を求める意見書

中東情勢の緊迫化に伴い、原油をはじめとするエネルギー価格や国際物流の動向が不安定化し、わが国の経済や国民生活に深刻な影響を及ぼしていることから、総合的かつ実効性のある対応を早急に講じるよう要望しました。

軽油引取税の課税免除措置の継続を求める意見書

スキー場関連産業の発展にこれまで貢献してきた軽油引取税の課税免除制度について、令和9年3月末までの時限措置となっていることから、令和9年4月以降も継続するよう要望しました。

山形県とアメリカ合衆国ハワイ州との姉妹県州締結に関する決議

本県とハワイ州との姉妹県州の締結について、これまで築いてきた友好親善を一層深め、両県州のさらなる発展に寄与するものと確信し、積極的に促進することを決議しました。

自衛隊への感謝と応援をする決議

自衛隊のこれまでの多大なる貢献に対し感謝の意を表するとともに、その尊い使命にふさわしい敬意が払われる社会環境の醸成を目指すものとし、自衛隊員とその家族を応援することを決議しました。

県議会ギャラリーで農林大学校の学生が卒業論文で取り組んだ研究成果を紹介

県議会ギャラリーでは、6月定例会の期間中、東北農林専門職大学附属農林大学校の学生（7経営学科・コース）が令和7年度の卒業論文で取り組んだ研究成果などを展示しました。

令和9年度の政府の施策等に対する提案活動を実施

6月2、3日、田澤議長が吉村知事とともに、各府省に対し「令和9年度政府の施策等に対する提案」に係る提案活動を行いました。

金子国土交通大臣、鈴木農林水産大臣をはじめ、内閣府や総務、環境各省の計6大臣に面会し、山形新幹線米沢トンネル（仮称）および奥羽・羽越新幹線の早期実現や食料安全保障の確保と地域農業の持続的な発展に向けた水田政策の推進などの主要な項目について提案内容を説明し、意見交換を行いました。

日本大学山形高等学校の生徒との意見交換会を開催

6月11日、身近な県議会を目指して、日本大学山形高等学校の生徒と県議会議員との意見交換会を開催しました。「高校生から見た山形の魅力とより良い山形に向けてできること」、「高校生のうちから地域に関わるための工夫」をテーマとして、2班に分かれて活発な意見交換を行いました。

山形県議会ホームページは県議会の情報が満載です。ぜひご覧ください!!

- ① 定例会の概要や議会の日程
- ② 議会の生中継やこれまでの質疑の模様
- ③ 可決した意見書・決議の内容
- ④ 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- ⑤ 会派ごとの議案等に対する賛否状況 など

問い合わせ 編集発行／県議会事務局政策調査室 電話番号 023-630-2846

詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

タイトル **ピックアップ 県政 150 周年 酒田港と庄内空港**

江戸時代、酒田港は日本海随一の物流拠点として栄えました。北前船が行き交い、米や紅花などの産物が大坂や江戸へと運ばれました。湊町酒田には豪商が軒を連ね、繁栄を極めました。明治時代に入ると、酒田港は近代港湾へと姿を変え、現在では、国際定期コンテナ航路や、外航クルーズ船の寄港地として、本県の経済・社会の発展を支えています。

また、平成 3 年(1991 年)10 月には、庄内空港が開港しました。高速交通ネットワークの広がりの中で、地域の強い願いが実を結んだものです。開港から 35 年を迎える今年 10 月には、セレモニーも予定されています。庄内空港から東京・羽田空港へは約 1 時間。空の玄関口として、庄内から世界へ広がる拠点となっています。

長い歴史を持つ酒田港を中心とする海上ネットワークと、平成の時代に開港した庄内空港を起点とした航空ネットワークは、それぞれの役割を果たしながら、山形・庄内の発展を支え続けています。

写真キャプション1 現在の酒田港

写真キャプション2 庄内空港開港日初便搭乗の様子

問い合わせ 広報広聴推進課 電話番号 023-630-2534

タイトル **地域の旬だより** 各地からの情報をお届けします。

名古屋エリア 東海山形県人会と連携した観光物産 PR

山形県の魅力を東海地域の方々に届ける取組みとして、百貨店などでの物産展が大きな役割を果たしています。

5 月に 5 年ぶりの開催となった岡崎市での「美食×美酒やまがた」物産展では、多くの皆さんにお越しいただき、久しぶりの開催を喜ぶ声も聞かれました。

6 月には松坂屋名古屋店で「宮城・山形物産展」を初開催し、さくらんぼをはじめとした、山形のおいしい旬の味覚や特産品を広く名古屋の皆さんに紹介しました。会場では、東海山形県人会と連携した観光案内コーナーを設置し、山形の食だけでなく、四季折々の風景や観光地の魅力などを発信しました。

このような活動をとおり、これからも東海地域で山形県の魅力を多くの方々へ伝えるとともに、山形県と当地域の連携・交流を深めていきます。

写真キャプション1 岡崎市「美食×美酒やまがた」物産展

写真キャプション2 松坂屋名古屋店「宮城・山形物産展」での PR

問い合わせ 名古屋事務所 電話番号 052-265-9841

タイトル **県内おススメ文化・スポーツ情報**

やまぎん県民ホールイベント情報

東京二期会オペラ『カルメン』

自由に生きるカルメンをめぐる愛と嫉妬、そして破滅へと向かう悲劇を描いたオペラの最高傑作のひとつ『カルメン』を、豪華オペラ歌手たちが山形交響楽団とともにお贈りします。

開催日時

10月4日（日曜日）午後2時

出演

指揮：阪哲朗、カルメン：加藤のぞみ、ドン・ホセ：城宏憲、エスカミーリョ：今井俊輔、合唱：二期会合唱団、児童合唱：村山市立楯岡小学校合唱部、管弦楽：山形交響楽団 ほか

料金

SS席：13,000円、S席：11,000円、A席：9,000円、B席：7,000円 ほか

注釈：アンダー25（25歳以下）S席、A席各半額

詳しくは検索窓に「やまぎん県民ホール」と入れてクリック。

問い合わせ

やまぎん県民ホールチケットデスク 電話番号 023-664-2204

受付時間：水曜日から月曜日 午前10時から午後7時

山形交響楽団演奏会

第336回定期演奏会

開演日時

9月19日（土曜日）午後7時

9月20日（日曜日）午後3時

出演

指揮：阪哲朗、チェロ：上野通明、ソプラノ：老田裕子、アルト：在原泉、テノール：清水徹太郎、バス：深瀬廉、合唱：山響アマデウスコア

演目

我妻英：山響委嘱新作〈世界初演〉、ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 ロ短調 作品104、シューベルト：ミサ曲 第5番 変イ長調 D.678

会場

山形テルサ（山形市）

前売券

A席 5,500円 B席 5,000円 ほか

詳しくは検索窓に「山響」と入れてクリック。

問い合わせ 山響チケットサービス 電話番号 023-616-6607

（受付時間：月曜日から金曜日 午前10時から午後5時）

問い合わせ 県民文化芸術振興課 電話番号 023-630-2903

プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」ホームゲーム

日時

9月5日（土曜日）午後7時

対戦チーム

ヴァンフォーレ甲府

会場

ND ソフトスタジアム山形（天童市）

日時

9月19日（土曜日）午後7時

対戦チーム

カターレ富山

会場

ND ソフトスタジアム山形（天童市）

日時

9月26日（土曜日）午後5時

対戦チーム

サガン鳥栖

会場

ND ソフトスタジアム山形（天童市）

日時

10月11日（日曜日）午後1時

対戦チーム

ベガルタ仙台

会場

ND ソフトスタジアム山形（天童市）

日時

10月21日（水曜日）午後1時

対戦チーム

北海道コンサドーレ札幌

会場

ND ソフトスタジアム山形（天童市）

日時

10月25日（日曜日）午後2時

対戦チーム

テゲバジャーロ宮崎

会場

ND ソフトスタジアム山形（天童市）

詳しくは検索窓に「モンテディオ山形」と入れてクリック

「パスラボ山形ワイヴァンズ」ホームゲーム

日時

10月3日（土曜日）午後3時05分

10月4日（日曜日）午後2時05分

対戦チーム

ファイティングイーグルス名古屋

会場

山形県総合運動公園

日時

10月10日（土曜日）午後3時05分

10月11日（日曜日）午後4時05分

対戦チーム

青森ワッツ

会場

山形県総合運動公園

日時

10月24日（土曜日）午後3時05分

10月25日（日曜日）午後2時05分

対戦チーム

越谷アルファーズ

会場

つるしんアリーナ小真木原

詳しくは検索窓に「山形ワイヴァンズ」と入れてクリック。

（注釈）最新の情報はホームページをご覧ください。

問い合わせ スポーツ振興課 電話番号 023-630-3156

旬のやまがた美食レシピ

山形おきたま伝統野菜 馬のかみしめ

収穫時期：9月下旬から10月上旬まで

主に長井市で生産されている「馬のかみしめ」は、だだちゃ豆と並ぶ山形の枝豆の在来種です。大豆になると、豆の表面に馬の奥歯で噛んだような跡ができることから、「馬のかみしめ」といわれるようになりました。一時は生産者が減り絶滅した品種だと言われていましたが、一部の農

家が種を保持していたことから、近隣の農家で協力し栽培量を増やしていきました。味が濃く、噛み応えが良いのが特徴で、少し長めに茹でると甘みが増します。惣菜やお菓子などの加工品にも利用されています。

馬のかみしめのじんだん団子

材料（5人分）

馬のかみしめ（枝豆）750 グラム、砂糖 250 グラム、塩大さじ 1、もち適宜

作り方

- 1 茹でてさやから外した馬のかみしめをすり鉢でする。（フードプロセッサーでも可）
- 2 砂糖と塩を加えてつぶし、じんだんを作る。（固いようなら水を少量入れる）
- 3 じんだんをもちに和えて完成。

問い合わせ 置賜総合支庁農業振興課 電話番号 0238-26-6051

<14 から 15 ページ>

タイトル おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 令和 8 年 7 月 1 日現在（プラスマイナス前月比）

人口総数 980, 512 人（前月比マイナス 793 人）

世帯数 398, 135 世帯（前月比プラス 77 世帯）

【募集】

令和 9 年度学生募集

東北農林専門職大学（新庄市）

募集学科 農業経営学科 森林業経営学科

総合型選抜、特別選抜

出願期間 9 月 18 日（金曜日）から 10 月 2 日（金曜日）

試験日 10 月 17 日（土曜日）

指定校推薦型選抜

出願期間 11 月 4 日（水曜日）から 11 月 11 日（水曜日）

試験日 11 月 21 日（土曜日）

一般選抜

出願期間 1 月 25 日（月曜日）から 2 月 3 日（水曜日）

試験日 2 月 25 日（木曜日）

課程：全て 4 年

問合せ 東北農林専門職大学教務学生課
電話番号 0233-25-8302

東北農林専門職大学附属農林大学校(新庄市)【通称:山形農林大学校】

募集学科(コース)

- 稲作経営学科
- 果樹経営学科
- 野菜・花き経営学科(野菜コース・花きコース)
- 畜産経営学科
- 農産加工経営学科
- 林業経営学科

学校推薦型選抜

出願期間 10月16日(金曜日)から10月23日(金曜日)

試験日 11月5日(木曜日)

一般選抜 11月17日(火曜日)から11月24日(火曜日)

試験日 12月2日(水曜日)

課程 全て2年

問い合わせ 東北農林専門職大学附属農林大学校教務学生担当

電話番号 0233-22-1528

【催し物】

やまがた健康フェア 2026 開催

県では、県民一人ひとりの健康意識の向上や自発的な健康づくりを図るため「やまがた健康フェア 2026」を開催します。会場では、幅広い世代の皆さんが楽しみながら健康づくりを体験できるプログラムを用意しています。

キッズコーナー、クイズ大会、キーワードラリー、健康相談など「健康づくり」に関する体験を試みませんか。入場はどなたでも【無料】です。ご家族やご友人と一緒にぜひご来場ください！

◆日時

9月12日(土曜日)・13日(日曜日) 午前10時から午後4時(13日は午後3時まで)

◆場所

イオンモール天童(天童市)

詳しくはこちら

<https://yamagata-kenko.com>

問合せ がん対策・健康長寿日本一推進課 電話番号 023-630-2337

令和 8 年度山形県リサイクル認定製品フードドライブ展示会

県が認定した「山形県リサイクル認定製品」（県内で排出された廃棄物などの循環資源を原料とした良質な製品）の展示・即売を行うほか、食品ロス削減に向けたフードドライブを実施します！認定製品が当たる抽選会や大人も子どもも楽しめるワークショップ（参加費無料）など、楽しくエスディージーズを学ぶことができますのでぜひお越しください。

◆日時・場所

- ①9 月 26 日（土曜日）正午から午後 6 時
9 月 27 日（日曜日）午前 10 時から午後 4 時
イオンモール天童（天童市）
- ②10 月 31 日（土曜日）正午から午後 6 時
11 月 1 日（日曜日）午前 10 時から午後 4 時
イオンモール三川（三川町）

フードドライブにご協力ください！

ご家庭で余ってしまった賞味期限が 1 か月以上の食品がありましたら、ぜひ会場にお持ちください。

イベントの詳細はこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/050010/kurashi/kankyo/recycle/recycleseihin/tenjikai.html>

問合せ 循環型社会推進課 電話番号 023-630-2322

JR 米坂線開業 100 周年記念事業

JR 米坂線の開業 100 周年を記念して、置賜地域一帯で各種イベントを実施しています。また、9 月 26 日（土曜日）には JR 米沢駅で記念セレモニーが行われるほか、特別ヘッドマークを付けた記念臨時列車の運行、米坂線沿線の駅でのイベントやおもてなしなどを行います。

詳細はこちら <https://oki-tama.jp>

問合せ 山形おきたま観光協議会（事務局：置賜総合支庁地域産業経済課観光振興室）
電話番号 0238-26-6098

【お知らせ】

＜あなたの一日が、未来を描く＞

社会生活基本調査

5 年に一度の重要な統計調査、「社会生活基本調査」が実施されます。調査の結果は、ワーク・ライフ・バランスの推進や少子高齢化対策など、さまざまな施策に役立てられます。回答は、インターネットまたは紙の調査票を調査員に渡していただく方法で行えます。

いつでも使えるインターネット回答が便利です。ぜひご利用ください。

◆調査内容

○過去1年間の自由時間における活動

○1日の生活時間の配分 など

◆回答期間 10月中旬から下旬

10月上旬から中旬にかけて、調査員が調査をお願いする世帯を訪問します。皆様のご協力をお願いします。

詳しくはこちら

<https://www.stat.go.jp/data/shakai/2026/campaign/index.html>

問い合わせ 統計企画課

電話番号 023-630-2177

農家の皆さまへ

「収入保険」のご案内

「収入保険」は、全ての農産物を対象に自然災害や市場価格の低下、病気・怪我など、経営努力では避けられないあらゆるリスクから「収入減少を補償する」公的な保険制度です。山形県農業共済組合では、令和9年の補償に向けた加入申請を随時受け付けています。

●対象：青色申告を行っている農業者

●申込期限：

（個人）12月末まで

（法人）事業開始月の前月末まで

●申込先：山形県農業共済組合 電話番号 023-665-4700

詳しい内容はこちら <https://www.yynosai.or.jp/shunyu>

問い合わせ 農政企画課 電話番号 023-630-3381

山形県宝くじ情報

県内で販売された宝くじの売上げの一部は、県や県内市町村の収益金となり、私たちの身近な暮らしに役立てられています。宝くじは山形県内でお買い求めください。

ハロウィンジャンボ宝くじ 5億円

ハロウィンジャンボミニ 5,000万円

発売期間：9月16日（水曜日）から10月16日（金曜日）

問合せ 財政課 電話番号 023-630-2044

詳しくはこちら <https://www.takarakuji-official.jp>

食肉衛生月間のお知らせ

（9月1日（火曜日）から30日（水曜日））

食肉による食中毒を防止するため、県では、9月を食肉衛生月間と定め、生食や加熱不足による食肉の喫食の危険性について注意喚起をしています。特に鶏肉の加熱不足を原因とするカンピロバクター食中毒が全国的に多く発生しています。調理の際は、中心部の色が変わるまで十分加熱し、こまめにしっかりと手を洗い、まな板や包丁などの調理器具は使い分け、洗浄消毒をしましょう。外食の際にも、よく加熱されていることを確認して食べましょう。

問合せ 食品安全衛生課 電話番号 023-630-2677

個人事業税・自動車税の口座振替について

個人事業税・自動車税の納付を口座振替にすると、毎年、納期限の日に指定の預金口座から引き落とし納付ができます。納付忘れがないほか、納付のために外出する必要もなく大変便利です。口座振替の手続きは、口座のある金融機関の窓口で行うことができます。税金の種類ごとに手続き期間が異なりますので、詳しくは県税政課または総合支庁税務担当課へお問い合わせください。

問合せ 税政課 電話番号 023-630-3347

応急手当講習を受講しましょう！

突然のけがや病気で目の前で人が倒れた時、救急車が到着するまでの間に心臓マッサージやエーイーディーを使用した応急手当を行うことが大切です。その場に居合わせた人が応急手当を行った場合、心臓マッサージで2倍、エーイーディーで5倍程度生存率が上昇します。応急手当講習は県内各地の消防署、日本赤十字社山形県支部で行われています。あなたの大切な人を守るために、応急手当講習会を受講してみませんか。

講習会の実施機関など詳細はこちら

https://www.pref.yamagata.jp/020080/bosai/kochibou/bousai_jouhou/kyouikukeihatsu/kenshubousaievent/oukyuuteatekoushu.html

問合せ 消防救急課 電話番号 023-630-2228

プレゼントクイズ

県民が防災学習の基本理念を共有し、防災学習を体系的に進める指針として、令和8年3月に策定したのは、「地域における〇〇〇〇アクションガイド」。さて、〇〇〇〇（漢字）には何が入るでしょうか？

ヒント：2から3ページ特集

正解者の中から抽選で賞品（指定はできません）をプレゼント！はがきに①クイズの答え②「県民のあゆみ」への感想など③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお送りください。また、スマートフォンなどから電子申請によりご応募いただけます。

電子申請での応募はこちらから

https://apply.e-tumo.jp/pref-yamagata-u/offer/offerDetail_initDisplay?tempSeq=21007&accessFrom=

A 賞 花笠なめたけ【5名様】

有限会社鮭川えのきセンター

第6回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」惣菜部門 最優秀賞

B 賞 いろは蔵御用米カステラ（初孫大吟醸）【10名様】

カムコミュニケーションズ株式会社

第6回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」菓子部門 最優秀賞

あて先：郵便番号 990-8570（住所は不要です）山形県広報広聴推進課「県民のあゆみ」9月号プレゼントクイズ係

締め切り：9月30日（水曜日）（当日消印有効）

注釈：応募いただいた個人情報、賞品発送と「県民のあゆみ」の記事作成にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

<16 ページ>

タイトル 潜入レポート

どうなってるの!?

山形空港（地上のお仕事）

飛行機の安全な運航は、どうやって支えられているの？

たくさんの人が力を合わせ、飛行機を送り出しています

飛行機が安全に空へ飛び立つまでに、地上ではたくさんの人たちが働いています。この仕事は「グラウンドハンドリング」と呼ばれ、山形空港では地元企業が担当し、飛行機の誘導や、お客さまの荷物の積み込み、専用車での機体の押し出しなど、安全な運航に欠かせない役割を担っています。また、飛行機の前後の重さのバランスを整えることも大切な仕事です。機内で「席を移動しないでください」と案内されるのは、そのバランスを保つためでもあります。山形空港では、雪の日でも安全に飛行機が発着できるよう、機体に付着した雪や氷を取り除く作業も欠かせません。さらに、さくらんぼやラ・フランスの季節には、山形の特産品を全国へ届ける役割も担います。こうした一つひとつの仕事が積み重なり、飛行機の安全な運航と地域の暮らしを支えているのです。

写真キャプション1 着陸後は、多くの職員が荷物の積み下ろしや給油、点検を短時間で行っています

写真キャプション2 安全・安心な空の旅へ飛び立ちます！

ヒミツポイント

<飛行機の誘導>

パドルと呼ばれる道具を使って合図を送り、飛行機を停止線まで誘導する仕事。パイロットと息を合わせて、線上にぴたりと合わせます。

＜安全運航の支援＞

雷や雨などの天気や他の飛行機の運航状況などをパイロットに伝える仕事。安全な空の旅を地上から支えます。

山新観光株式会社 航空部長

佐藤茂晴（さとうしげはる）さん

山形空港は、県民の皆さんの暮らしや経済を支える大切な空の玄関口です。私たちはこれからも「安全と安心」を大切に、温かいおもてなしの心で、県民の皆さんに愛され、誇りに思っていただけの空港づくりに努めます。9月27日には、なりきり撮影会や航空教室などの空港フェスティバルを開催します。ぜひ皆さんご参加ください。

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和8年9月号 653号

奇数月1日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課

郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目8番1号 電話番号 023-630-2534

表紙題字 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>